



碧南ロータリークラブ週報

第3065回例会 令和5年8月23日(水)

- 会長 角谷 信二
- 幹事 杉浦 栄次
- 会場監督(SAA) 岡島 晋一

2023-2024 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



世界に希望を生み出そう

- 会報委員 長田一希・牧野勝俊・杉浦秀延

●斉 唱

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

第 2760 地区 ガバナー 酒井法丈様 (豊田RC)
" 幹 事 杉浦敏夫様 (豊田RC)
" スタッフ 福田功二様 (豊田RC)

歓迎の辞 及び 会長挨拶

ご挨拶を申し上げます。

酒井ガバナーをはじめと致します地区スタッフの皆様、そして、交換学生の皆様、ご来訪いただきまして、心より歓迎を申し上げます。両クラブを代表致しまして、重ねて御礼を申し上げます。酒井ガバナーにおかれましては、今週よりガバナー公式



角谷信二会長

訪問が始まりまして、我々のクラブが 2 回目の訪問ということで、まだまだ熱量が余っておりますので、後程の卓話が期待されるかなあというふうに思っております。

新聞等でお読みしましたので、ご紹介と言いますか、酒井ガバナーが 1 年間をどのように過ごされるかということをお話しさせていただきます。酒井ガバナーは「84 クラブがそれぞれに目的意識を持って活動できるようにサポートしていきたい。」と言われておりまして、「84 クラブ全てに奉仕活動を理解していただく為の周知活動に力をいれたい。」と言われております。また、「奉仕活動がどれくらい地域の役に立っているかも確かめたい。」ということでござ

います。

地区方針の意図と致しまして、「会員であることにプライドを持って活動すると、クラブのブランド力が上がる。そして、地域での存在意義が上がる。そうした循環を生み出したいという思いを込めた。また、青少年への奉仕プログラムなど、未来につながる活動を行っていきたい。」と言われております。

会員増強の方針と致しましては、「退会する方を留める取り組みに力を入れたい。具体的には、新入会員オリエンテーションのプログラムの見直しを図るなどを検討している。」ということでございます。

本日のご指導、ご助言をよろしくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 63 名 (内出席免除者 14 名の内出席者 12 名) 出席者 53 名	
出席対象者 53/61 名	出席率 86.89%
欠席者 10 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

第 2760 地区ガバナー 酒井法丈様、地区幹事 杉浦敏夫様、地区スタッフ 福田功二様より大変たくさん頂戴しました。

伊藤 正幸君 新入会員オリエンテーションご参加いただき、また、ご指導いただきました皆様、ありがとうございました。

清澤 聡之君 先日、新入会員オリエンテーションの時に、角谷会長、杉浦幹事に大変お世話になりました。

小林 清彦君 当法人で取り組んでいる介護の先進技術について、NHK名古屋の夕方番組「まるっと」だけでなく、朝番組「おはよう東海」でも取り上げていただきました。

ガバナー公式訪問

第 2760 地区ガバナー 酒井法丈様

皆さん、改めまして、こんにちは。

ご紹介いただきました 2023-24 年度の 2760 地区のガバナーを務めさせていただきます豊田 RC 所属の酒井法丈と言います。

貴重なお時間をいただきまして、お話をさせていただきますので、ご清聴の程よろしくお願い



酒井法丈様

い致します。

ガバナー公式訪問の1つの目的として、RI会長のメッセージをお伝えするという役割があるものですから、最初にそれを皆さんにお伝えしていきたいというふうに思います。RI会長には1月に国際協議会でお会いしたのですが、7月になってくるとメッセージがわかりやすくなってきたというのが現状であります。

RI会長であります、ご存知のようにスコットランドのゴードン R. マッキナリー氏であります。7月のメッセージで目に付いたのが、「深刻な課題に直面している中でも、ロータリーは会員と世界の人びとのために働き、恒久的な平和を築くために尽力し、すべての活動に帰属意識とインクルージョンを浸透させています。だからこそ、私はロータリーの皆さんに『世界に希望を生み出そう』と呼びかけているのです。」ということであります。

続いて、「研究によると、自分の幸せを守る効果的な方法は人に親切にすることだと判明しています。そして、心の平安を得ることによって、私たちは世界に平和をもたらすことができるようになります。ロータリーの本質は平和を築くことにあります。私たちの奉仕プロジェクトの多くは、『積極的平和のための土壌づくり』です。」と仰っています。

続いて、「平和は夢ではなく、受身的なものでもありません。一生懸命努力し、信頼を獲得し、難しいかもしれませんがオープンな会話をすることで得られるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人とのつながりと目的意識が、あらゆるロータリー会員を奮立たせてくれることでしょう。」と仰っています。

続いて、「素晴らしいクラブ体験を提供できるようにクラブのリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができ、より多くの入会候補者がロータリーに関心を持ってくれます。これ以上なく居心地のよい、これ以上なく魅力的なクラブを築きあげましょう。」と仰っています。これを言い換えると、「魅力的なクラブは居心地がよい。居心地がよいから会員を維持することができる。入会候補者もロータリーに関心を持ってくれる。」となります。ですので、居心地のよい魅力的なクラブを作ることが、会員増強につながるというふうに私は受け止めています。

続いて、「クラブの例会から奉仕活動まで、帰属意識を高めることが目標です。誰もが自分らしくいられる、包括的で居心地のよい環境を作り続ける必要があります。ありとあらゆる行動人が『ロータリーには自分の居場所がある』と思えるような場所にする必要があります。そうできるかどうかは私たち次第です。」と仰っています。

RI会長の重点目標が3つあります。1つ目がポリオプラスプログラム、これはポリオ根絶のためにロータリーが活動していることを引き続きやっていくということです。2つ目がメンタルヘルス、これは今年度のRI会長が言い始めたことでもあります。3つ目が女児のエンパワメント、これも引き続きRIは努力していくということを仰っています。

RIはビジョン声明を出しています。2007年に我々がよく使う「中核的価値観」というものが発表されて、「ロータリーのビジョン声明」というものが2017年に発表されました。そのビジョン声明を達成するための優先事項として、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」という4つを挙げています。

- ① より大きなインパクトをもたらす
 - ・ポリオを根絶し、残された資産を活用する
 - ・ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
 - ・活動成果を挙げ、それを測る能力を高める
- ② 参加者の基盤を広げる
 - ・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
 - ・ロータリーへの新しい経路を創り出す
 - ・ロータリーの開放性とアピール力を高める
 - ・インパクトとブランドに対する認知を築く
- ③ 参加者の積極的なかかわりを促す
 - ・クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
 - ・価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
 - ・個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
 - ・リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する
- ④ 適応力を高める
 - ・研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
 - ・ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
 - ・意思決定における多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

ということでもあります。

続いて、昨年から DEI という言葉がよく使われると思います。これをちょっと言葉を変えて説明しようと思います。Diversity 多様性、Equity 公平さ、Inclusion インクルージョンの頭文字を取って DEI となっております。

- ・ Diversity 多様性

ロータリーはあらゆる背景をもつ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します。これをちょっと言葉を変えると、ロータリークラブ創立当初からの価値観となります。表層的な多様性に留まらず、人びとの深層に思いを致した対応が望まれます。

- ・ Equity 公平さ

ロータリーはクラブ会員の公平な扱いと機会の均等を保つように努めています。これをもう少し言葉を変えると、持続的なクラブをイマジン（創造）する時に求められる世代やジェンダーを超えた関係性を生み出せるかが鍵となります。

- ・ Inclusion インクルージョン

ロータリーはあらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブの環境づくりに力を注いでいます。これを少し言葉を変えると、感覚ではなく、実際の言行に生かすことが望まれるとなります。

こういったことを受けて地区方針を「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ！！」とさせていただきます。我々は、ロータリーとは親睦と奉仕だとよく言います。では、その親睦と奉仕は何かということですが、

- ・ 親睦

他の会員の良質な言動に接して、自己改善を重ね、奉仕の心を熟成し、それを実践するよう自己研鑽するもの。

・奉仕

他者への働きかけであるように見えて、実は自分との戦いであり、結果として心の豊かさが与えられるもの。

であります。親睦・奉仕はロータリーの両輪の如く言われますが、1つの大きな「輪」として捉えるものではないでしょうか。親睦から自身が成長する機会を得て、奉仕から心の豊かさを培えることこそが、ロータリーの魅力ではないでしょうか。だから、プライドやブランドが大事になってくる訳です。これが私の目指しているもので、RI 会長の方針もそうでありまして、表現は違いますが言いたいことは皆だいたい一緒だと思います。

最後に皆さんへのお願い事項としまして、

- ・ロータリー財団への寄付
- ・地区大会への参加
- ・RFF（ロータリー・フード・フェスティバル）への積極的な参加
- ・世界大会（シンガポール）への参加

であります。以上で今日の卓話とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

謝 辞

酒井ガバナーにおかれましては、大変お疲れ様でございました。

今朝、6時ぐらいから非常に強い雨と雷が凄かったのを起きておられた方は感じたと思いますが、今の時間帯の天気を見ますと、晴れ晴れとしておりまして、これも偏に酒井ガバナーの日頃の心掛けの賜物かというふうに思います。ということをお謝辞と代えさせていただきます。以上でございます。ありがとうございました。



近藤智樹 高浜 RC 会長

次回例会案内

令和5年9月13日（水）

クラブフォーラム「65周年事業 子どもたちのためになる寄付贈呈」

社会福祉法人 碧南市社会福祉協議会 会長 石川 徹氏

//

地域福祉課 地域福祉係 主事 鱒部宣行氏